



ゆかた
ファッションショー
2015
ママまつり in 国見



現在、建設を進めている里まち文化ステーション(道の駅)では、子育て世代支援エリアを設け、ママたちが子どもと一緒に訪れ、ホッとしたり、交流を深めたりできる場になるような仕掛けづくりを進めています。

Children ママまつり in 国見

ママの文化祭「ママまつり」を開催

7月19日、「ママまつり in 国見」が観月台文化センターで開催され、約2千人が来場しました。ママまつりは、ママによるママのためのイベントで、「ママの「好き」「得意」「経験」を活かした発表の場として、来場者やママ同士が交流し、つながりを作ることを目的に、全国各地で定期的に開催されています。国見町ではNPO法人チルドリンとの共催で、昨年11月に初めて開催され、今回で2回目となりました。メインステージでは、まずオープニングセレモニーが行われ、太田久雄町長がNPO法人チルドリン代表理事の蒲生美智代さん、ママまつりin国見実行委員長の紺野由美さんが挨拶しました。挨拶の後にはバルーンパークが行われ、カラフルな風船が舞う中、華やかにママまつりがスタートしました。セレモニーに引き続き、メインステージで

は県北中学校吹奏楽部の演奏やヒップホップ、チャダンスの発表、キビタンとくにみもたん、桑折町のゆるキャラ「ホタビー」が共演し、キビタン体操が行われました。最後に行われた浴衣ファッションショーでは、ランウェイでプロのモデル顔負けのポーズを決めてくれたモデルの子ども達も、会場を盛り上げてくれました。またメインステージの他には、約30箇所のブースが設けられ、各ブースでは、ママたちの作品の販売や小物作りのワークショップが行われました。今、話題の子どもを布の上に寝かせて写真を撮る「おひるねアート」と呼ばれるコーナーなども人気を集めています。来場者の方と交流しているママ達の表情がとても生き生きしていたことが印象的でした。ママだけでなく、家族みんなが笑顔になれる、楽しいイベントとなりました。



ゆかたファッションショー



ロディヨガ



ネイル体験



キビタン体操



手作り小物販売

国見町は子育て世代のママ・パパを応援します

国見町では、NPO法人チルドリンと共催の「ママまつり」、東京おもちゃ美術館と共催の「森のおもちゃフェスティバル」の開催など、子育て世代を応援する取り組みを行っています。